

## 令和2年度指導教諭による「指導力向上講座」③④

前号に引き続き、今号では、11月に行われた2つの「指導教諭による授業力向上講座」について紹介します。

**【どの子どもにも満足感と達成感を！特別支援の基礎基本を学ぶ】**

**特別支援 高橋 由紀子 先生**

11月6日(金) 一関市立一関小学校

講義：特別支援の基礎基本

講義・演習：「自立活動の授業の工夫」

### (1) 講義

「特別支援学級の担任に必要なこと」として6つの視点をもとに、実際の実践の動画等を使いながら特別な支援を必要とする子どもに対し、大切にすべき点について、取り上げました。また、以前に担任をした学級の一年間の歩みをもとに、実際に行ったさまざまな支援と子どもの成長の様子を紹介し、子どもが満足感や達成感をもつことができるような支援を行うことや、根気強く継続的に支援を行うことの大切さについて確認しました。



### (2) 講義・演習

実際の活動を通して、個別の子どもが自立を目指して、学習上・生活上での困難を主体的に解決するための自立活動の設定の仕方や留意点、具体的な支援のポイントについて確認しました。



### 高橋先生の講義・演習から学ぶ指導のポイント

- できるだけ多くの時間、子どもと一緒に活動したり、遊んだりして子ども理解に努めることが第一であること。
- 指導(かかわり)の基本は褒めること。よい行動を増やすという視点で、子どものよさを見逃すことなく、小さなことでも褒める・認めることで、子どもに満足感や達成感をもたせること。
- 自立活動では、子どもの実態に応じて、場の工夫、視覚的な情報提示、参加の促進等のための手立て等を立て指導に当たること。

### 参加者の声(一部抜粋)

- ・すぐに生かせそうな内容をたくさん教えていただき、とても有意義な研修会でした。
- ・「学校が楽しい!」「みんなと一緒に仲良くすると楽しい!」という思いや体験をたくさん増やすことができる特別支援の基礎基本をたくさん学ぶことができました。
- ・子どもと一緒に遊ぶ・活動するというのをずっと体現されてきていることの重要さが分かりました。遊ばせ上手・褒め上手の大切さを改めて感じました。

**【新学習指導要領の趣旨に則した授業の創造】**

**英語 北村 良子 先生**

11月10日(火) 一関市立千厩中学校

授業：「比較表現を用いて身近なものを比べてみよう」  
「A Video Project」第2学年

説明：協議

### (1) 授業

文法事項を最初に教師が説明するのではなく、教科書本文を活用し、新出事項が使われている文の前後関係から、意味や形、使い方について生徒自身に気付かせるという帰納的な指導を行いました。また、身近なことについて「書く活動」と「話す活動」を繰り返すことで、生徒の意欲の向上、言語事項の理解と定着を図っていきました。振り返りでは、「さらに～になりたい。そのために～を努力する。」と視点を示すことにより、生徒の自己調整力のメタ認知化につなげていきました。



### (2) 研究協議

主体的に学習に取り組むことができるようにするための振り返りのさせ方や、基礎基本の定着のための取り組み、ワークシートの活用の仕方等について確認しました。「やればできるではなく、仕組んでやらせればできるようになる」という教師として大切な姿勢を確認しました。



### 北村先生の授業から学ぶ指導のポイント

- 新出の言語材料は、「活動→指導→活動→指導」を繰り返すスパイラルな指導過程を大切に、単元や学期など、長期的な見通しをもちながら定着を図ること。
- 「こういうことを表現したいときは、この言語材料を使用すればよい」という、思いを言語化できた成功体験をさせることで、能動的な学習をうながすこと。
- 一方的に学習内容を教え込むのではなく、生徒に活動させ、気付かせるような学習過程をとること。

### 参加者の声(一部抜粋)

- ・日頃の授業実践の中で、自分自身が課題だと感じていることや、「こういうことに着目したい」と思っていたことのヒントをたくさんいただけた研修でした。
- ・新学習指導要領となり、表現や活用にはかり目が行きがちですが、その活動を支えるための基礎基本をおろそかにすることなく指導していきたいと思えます。
- ・北村先生の「生徒に～させたい。」という信念をもって50分の授業で勝負している、という言葉が印象に残りました。